

令和2年度 社会福祉法人 百八会 事業報告

1 はじめに

社会福祉法人百八会は、地域から頼られ選ばれる魅力ある施設を目指し、基本理念に基づいた活動を行うところであったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な活動が制限された。令和2年度は、制限下であっても少しでも地域の力になり、寄り添える活動を行った。

魅力ある施設には魅力ある人材の確保が不可欠であることから、職員一人ひとりがいきいきと働き、仕事を通じて成長できる職場環境づくりを目指すため各種研修やメンタルヘルス不調を未然に防ぐためのストレスチェック、人事考課を定期的実施した。法人全体で働き方改革に取り組み、適正かつ効果的な人事考課を行い、魅力ある人材を育成することにより介護サービスの質の向上を図り、地域の皆さまのご期待に添うべく法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層研鑽を積み続ける。

また通年のインフルエンザ等の感染症予防対策に加え、新型コロナウイルス感染拡大予防策を講じ継続的に取り組んだ。「コロナを持ち込まない・広げない」を常に念頭に置き、引き続き、感染症の予防・蔓延防止に向けた取り組みを実施していく。

2 概要

(1) 組織

理事：9名 評議員：10名 監事：2名
評議員選任解任委員：3名

(2) 理事会開催状況

第1回 令和2年6月11日開催
議案 第一次補正予算（案）について
令和元年度 事業報告について
令和元年度 決算報告について
任期満了に伴う理事の選任（案）について
就業規則の一部改正（案）について
共同募金の指定寄付（案）について
施設整備費の借入金（案）について
理事長の職務執行状況報告

第2回 令和2年8月20日提案（書面決裁）

議案 借入金について

第3回 令和2年9月4日提案（書面決裁）

議案 独立行政法人 福祉医療機構への借入金について

第4回 令和2年12月11日提案（書面決裁）

議案 共同募金指定寄付の取下げについて

施設設備費の借入金（案）について

経理規程の変更について

東町デイサービスセンターの事業計画及び予算について

育児・介護休業規程の一部改訂について

第5回 令和3年3月25日提案（書面決裁）

議案 令和2年度 補正予算（案）について

令和3年度 事業計画書（案）について

令和3年度 予算（案）について

賞与に伴う借入金について

理事長の職務執行状況について

（3）評議員会開催状況

第1回 令和2年6月26日開催

議案 令和元年度 事業報告について

令和元年度 決算報告について

任期満了に伴う理事の選任（案）について

3 事業所

- ・ 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・ シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 東町デイサービスセンター
(令和3年1月12日開所)

4 地域福祉の推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のサロン健康教室、老人会等の地域行事がほとんど中止となり、地域の方との交流が激減した。また、ボランティア受入も制限を余儀なくされたが、ボランティアの作品展示を行うなど、少しでも交流がもてる環境づくりに努めた。

- ・ 令和2年7月豪雨被災者受入れ

熊本県南部を襲った7月豪雨で被災した特別養護老人ホームより、一時避難として入居者1名を受入れた。



- ・ 一時避難者受入れ

台風10号の影響により、令和2年9月6日～7日の期間、さくら樹地域交流スペース及びデイルームを開放し、主に地域の住民を対象に「一時避難所」を開設。15名の地域住民を受け入れた。



- ・ 地域交流スペースの活用

東町デイサービス併設の地域交流スペースは、東町団地及び近隣地域の誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民の共生・交流の場となることを目的としている。

子供からお年寄りまでの多世代が集い、交流することによって、新たな交友関係が広がり、地域でつながり支え合う互助を生み出すよう努めた。

- ・ エコキャップ収集活動

イオン九州株式会社が行っている「ペットボトルで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」に2008年から協力開始。

職員や地域住民の協力でペットボトルのキャップを収集し、令和2年度は合計151.3kg（ポリオワクチン約35人分）を届けた。



- ・ 日本財団へ寄付

2017年より社会貢献型自動販売機「夢の貯金箱(日本財団)」を設置し、飲料1本につき10円を寄付している。

令和2年度は49,640円を寄付した。



寄附金は災害復興支援に役立てられる。

5 広報

- (1) 「地域交流紙さくら樹」を年4回、各700部を発行。春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)さくら樹の出来事やイベント等のお知らせ、入居者のご家族、デイやヘルパーご利用者だけでなく、市内の特養や地域住民等に広く配布し、施設のPRに活用。表紙にご利用者や職員の写真を掲載したことで、ご意見やご感想がより多く寄せられるようになった。ご意見は職員全体で共有し、紙面作成やその他の活動の参考にすることができた。
- (2) 法人運営の透明性確保のためインターネットを活用した。法人のホームページに定款、決算報告、役員報酬、広報紙など法人の情報を公表。併せて処遇改善計画書の掲示も行っている。熊本市のホームページに現況報告書等を公表している。

6 施設内研修実績

実施月	研修内容（担当部署・委員会）
令和2年 4月	コロナ感染拡大防止のため中止
5月	コロナ感染拡大防止のため中止
6月	コロナ感染拡大防止のため中止
7月	食中毒（DVD）
8月	新型コロナウイルス感染症について（DVD）
9月	権利擁護（プライバシー保護、個人情報の取り扱い）
10月	事故防止の知識（オンライン研修）
11月	接遇の理解と現場にふさわしい言葉使い（オンライン研修）
12月	インフルエンザ、ノロウイルス対応
令和3年 1月	対人トラブル
2月	パワハラ・セクハラ
3月	各自で興味のあるものを視聴

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外部講師を招かず
 令和2年度より、オンライン研修を導入した。
 各自オンラインによる研修を行い、テーマに沿った内容の研修を
 視聴し、感想文を提出した。

7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、 施設長、幹部職員	毎月第1木曜	各事業所の現状・問題点 など
教育委員会	施設長、各部署代表	偶数月第1火曜	施設内外の教育・研修に ついて協議、企画実施
安全対策委員会	本部長、施設長、 各部署代表	偶数月第3木曜	ヒヤリハットの検証な どについて
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第1木曜	職員の労働・安全・健康 に関する事項
災害対策委員会	施設長、各部署代表	偶数月第3火曜日	防災計画、災害時マニ ユアルの整備
感染対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	感染症予防、発生時の感 染拡大防止
福利厚生委員会	各部署代表	随時	職員の福利厚生につい て
苦情・CS委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	サービス向上のための 諸問題検討、解決。施設、 職員への苦言・接遇・ご 意見を取り上げる。再発 防止策の検討・実施。
地域浸透プロジェク ト委員会	各部署代表	毎月第2水曜日	行事の企画実施・広報 誌・ホームページ・展 示・掲示物について
ボランティア委員会	各部署代表	随時	ボランティアについて